

諸課題に取り組めます

東京スカイツリーの周辺整備

平成24年春の開業に向けて着々と工事が進むスカイツリーの完成に合わせ、その周辺整備は喫緊の課題です。

間川、②横十間川、③旧中川で耐震護岸整備を進めます。旧中川については今年度に事業が完成。残り両河川も整備を急ぎ、各河川との接続環境を確立し、舟運を導入します。北十間川の樋門を閉門に切り替え、隅田川からの船の乗り入れも実現します。



スカイツリーと北十間川

◆通称「押上ガーデン通り」(押上通りからの延伸)の拡幅に早急に着手するよう、都に強く申し入れ、今年度、事業促進の確約をとりました。これにより、平成16年度から防災関連で拡幅事業が計画されて以来、遅々として進まなかった事業が動き出します。

◆東武伊勢崎線の押上2号踏切の解消を進めます。都のバックアップを強力に図ります。

◆観光振興策として墨田区内河川の護岸整備と併せて舟運を活用した観光施策に取り組みます。①北十



押上ガーデン通りの拡幅 本所吾妻橋駅のバリアフリー化 待機児解消へ保育園を増設

すみだのまちづくり

◆補助120号線(はなみずき通り、鐘ヶ淵通り)の拡幅並びに、東武「鐘ヶ淵駅」の踏切解消を進めます。

◆京成押上線の連続立体交差事業を推進します(今年度より片側高架化の工事着手)。京成「曳舟駅」、明治通りの踏切の解消を図ります。

◆荒川の耐震護岸整備の早期完成を目指します。併せて、植栽と遊歩道の整備に取り組めます。

◆区内の電柱地中化を推し進めます。清澄通り・二子橋・森下間、四つ目通り、桜橋通りの早期実現。清澄通りは来年度事業着手、平成25年度完成へ。

◆都営地下鉄浅草線「本所吾妻橋



東武鉄道押上大踏切

◆本所警察署の移転に伴う跡地利用

◆高年齢者住宅、グループホームの設置を促進します。

◆都が行っている認証保育園を推進し、待機児の解消を推し進めます。また、都営住宅の改修や改築に伴い、認可保育園の併設も視野

◆特別養護老人ホームの拡充を進めます(学校跡地(旧木下小学校跡地)など)。特に都は軽費老人ホームを押し進めるための事業化を今年度より実施します。

◆制度融資の維持拡充を図ります。また、地域の活性化を図るため、商店街活性化事業(新元氣出せ商店街)並びに地域活性化事業(地域の底力事業)の補助事業の維持拡充を図ります。

◆景気対策

◆医療の充実
◆東部医療圏の療養病床の確保(増設)を進めます。また、その一環として、老健施設の拡充に取り組みます。都立病院の医療体制の充実を図ります(墨東病院の今年度母子周産期医療体制の強化及び、感染症対策の充実にも務めます)。

◆少子高齢化対策
◆特別養護老人ホームの拡充を進めます(学校跡地(旧木下小学校跡地)など)。特に都は軽費老人ホームを押し進めるための事業化を今年度より実施します。

◆景気対策
◆制度融資の維持拡充を図ります。また、地域の活性化を図るため、商店街活性化事業(新元氣出せ商店街)並びに地域活性化事業(地域の底力事業)の補助事業の維持拡充を図ります。

◆教育関連
◆公立小・中学校の校長、副校長並びに一般教職員の負担軽減を目指します(特に、副校長の負担軽減を図るために主幹教諭の役割、学校事務のあり方について見直しを図る。教職員の事務量を減らすことで、子どもに向き合う時間を増やし

◆障害者福祉施策
◆障害者が地域で安心して暮らせるためのサービス基盤の整備、地域移行と定着支援を促進します。

◆障害者の就労支援の充実(授産施設・グループホーム・ケアホーム設立支援)に取り組めます。

◆「小1問題・中1ギャップ」に対する取り組みとして、教員の加配とともに学級規模の縮小とティームティーチング等の選択を可能とし、本年度実施。

皆様のご意見をお聞かせ下さい

桜井浩之事務所

〒131-0043 東京都墨田区立花5-3-1
ヤジマコーポ101
TEL 03-5631-7757 FAX 03-5631-7767
E-Mail h.sakurai39@gmail.com

URL <http://www.h-sakurai.jp/>